

一般社団法人日本調理科学会 2023年度 第2回理事会議事録

日 時：2023年 9月 6日（水）11：00～12：00

場 所：オンライン開催

出席者：綾部園子会長，新井映子筆頭副会長，真部真里子副会長，平尾和子副会長，佐藤靖子，高澤まき子，藤井恵子，阿久澤さゆり，杉山久仁子，柳沢幸江，中澤弥子，久保加織，北尾悟，坂本薫，杉山寿美，岡本洋子，秋永優子，田原美和，長嶺清司，三神彩子，三宅裕子，宮藤章（以上理事22名）  
飯田文子，高村仁知（以上監事2名）

欠席者：小西史子，和泉秀彦（以上理事2名）

本日の理事会は，定款第33条理事の過半数の出席（理事22名出席）を満たし成立。

【配信資料】

資料1：一般社団法人日本調理科学会 2023年度第1回理事会議事録（案）

資料2： 同 2023年度 編集委員会論文審査状況報告

資料3： 同 2023年度 情報管理委員会報告

資料4： 同 2023年度 特別委員会報告

資料5：災害時メニュー開発に関する研究委員会報告

資料6：特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会報告

資料7：一般社団法人日本調理科学会2023年度大会 事業報告会及び学会賞授与式次第

資料8：創立60周年記念事業「調理科学の百科事典」

資料9：大会開催年度別一覧表

回収資料：新入会員（2023年7月11日～2023年9月4日入会申込者）一覧

1. 議長，議事録作成人，署名人選出

前例により，議長は綾部会長，議事録作成人は杉山庶務担当理事，議事録署名人は綾部会長，新井筆頭副会長，飯田監事，高村監事とする。

2. 前回議事録（案）確認

2023年度第1回理事会議事録（案）（資料1）が確認され，了承された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

綾部会長，新井筆頭副会長，真部副会長，平尾副会長より業務執行状況について報告があった。

(2) 常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会

資料2に基づき，新井副会長より2023年度（8月30日現在）の論文審査状況について，投稿数計の数値から，現在19件であり順調な投稿状況であるとの報告があった。

2) 情報管理委員会

資料3に基づき，真部副会長より2023年度大会J-STAGE公開，ホームページの管理，メール・ニュース発行，転載許可について報告があった。

### (3) 特別委員会からの報告の件

資料4に基づき、綾部会長より刊行委員会および記念出版委員会の以下の報告があった。

#### 1) 刊行委員会

クッカーサイエンス011「米粉調理で広がる世界」（市川朝子、香西みどり共著）が9月5日に刊行され、日本調理科学会年次大会の会場で展示・販売、チラシを配布することが報告された。012（峯木眞知子他共著）の進捗状況について報告があった。

#### 2) 記念出版委員会

「伝え継ぐ 日本の家庭料理」のアーカイブ化が進められていること、本に掲載できなかった料理に関するWEBでの公開状況などについて報告があった。年次大会の際に農文協の展示ブースで「調理科学の目」「読み案内」などの追加機能についてのデモンストレーションが行われることが紹介された。

### (4) 研究委員会からの報告の件

#### 1) 災害時のメニュー開発に関する研究委員会

資料5に基づき、平尾副会長より説明があった。第1回、第2回研究委員会の開催報告に続き、年次大会の1日目に説明会を実施することが案内された。構成メンバーとして各支部長への参加が依頼され、参加できない場合には連絡してほしいとの確認があった。さらに、説明会での検討内容として「今後の課題」について説明が行われた。研究委員会に興味のある会員の参加も歓迎する。

#### 2) 「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会

資料6に基づき、委員長の綾部会長より5月以降の経緯、調査チーム、実験チームそれぞれの進捗状況、研究費用の補助について説明があった。研究費用の補助のうち、学会誌掲載料の補助の内容について、質問があった。投稿期限を2025年度末として1件2万円で20件まで補助する予定であるが、研究の進捗状況を参考にしながら、必要に応じて予算について再検討することが確認された。

### (5) 2023年度大会の件

#### 1) 事業報告会及び学会賞授与式の件

資料7に基づき、綾部会長より2023年度事業報告会および学会賞授与式の次第について報告があった。

#### 2) 大会実行委員会からの報告の件

杉山寿美大会実行委員長より、現時点で約430名の事前登録があり、参加者が増えるよう参加を呼び掛けてほしいとの依頼があった。大会については当日参加も可能。

### (6) 2024年度大会の件

藤井関東支部長より、2024年度大会の準備状況について説明があった。大会のテーマは「調理科学のこれから—家庭・地域・社会への貢献—」、1日目の公開学術シンポジウムは「調理の未来を考える—家庭内食と中食のこれから—」、2日目の教育講演は「鎌倉の精進料理と地場野菜—次世代・世界へのメッセージ—」として科研費申請の書類を作成していることが報告された。大会の日程が栄養改善学会と日程が重なっていることが判明したが、日程の変更は難しいことが確認された。

### (7) 創立60周年記念事業「調理科学の百科事典」の件

資料8に基づき、綾部会長より進捗状況について報告された。執筆依頼がこれから行われるので協力してほしいとの説明があった。60周年大会で事典を披露する予定であることが確認された。

## 【審議事項】

### (1) 新入会員承認の件

回収資料に基づき、新井副会長より2023年7月11日から2023年9月4日入会申込者一覧（正会員3名、学生会員2名、賛助会員1団体）について説明があり、確認を行い、承認された。

### (2) 若手研究者発表奨励賞の件

新井副会長より、今回は現地で投票用紙を用いて投票を行い、現地で即日開票を行うことが説明された。投票結果の確認は編集委員会が担当し、新井委員長と東根委員で行い、その後、新井副会長、真部副会長、藤井理事（次期開催支部）、田原庶務担当理事の4名で構成する選考委員会で受賞者を決めるとの提案があり、審議を行い、承認された。

### (3) 2025年度大会の件

資料9（創立からの開催一覧）に基づき、綾部会長より2025年度開催支部は東海・北陸支部であることの説明があった。中澤東海・北陸副支部長より、開催することを前提に検討を進めていることの説明があり、審議を行い、東海・北陸支部で検討を進めていくことが承認された。

## 【その他】

### (1) 次回理事会の件

綾部会長より、2024年1月20日（土）10：00～12：00に開催する旨、連絡があった。

議事録署名人	会長	綾部園子
	筆頭副会長	新井映子
	監事	飯田文子
	監事	高村仁知